

## 日経イノベーション・ラボが「日経 IoT スマートミラー」開発、JAL とコラボレーションも

日本経済新聞社の研究開発組織である日経イノベーション・ラボは、タブレット端末を内蔵した鏡型のデバイス「日経 IoT スマートミラー」を開発。その技術を使い、旅行情報や交通情報、最新のニュースなどを日常生活の中で気軽に確認できる「IoT スマートミラー 日経×JAL 青森編」を日本航空（JAL）と共同制作しました。3月2日から6日にかけて東京都港区の JR 高輪ゲートウェイ駅で行われる開業2周年イベント「Playable Week 2022」に出展します。「IoT スマートミラー 日経×JAL 青森編」の展示は3月5日～6日の2日間を予定しています。

鏡型デバイスの日経 IoT スマートミラーは、ふだんは鏡として使いながら、そこに様々な情報を重ねて表示させられます。これまでの技術では鏡の反射率を上げると厚みが増し、タッチ操作ができなくなるといった課題がありました。日経イノベーション・ラボの技術で、鏡としても利用でき、さらにタッチ操作も可能なデバイスを実現しました。

PC やスマホの利用時間が飽和しているユーザーとの新たな接点になるメディアとして日経 IoT スマートミラーを考案しました。新聞記事や株価、天気など、ユーザーがカスタマイズした情報を表示できます。将来はオフィスや美容室、ラウンジなどでの利用が想定できるとみています。

### JR 高輪ゲートウェイ駅 2 周年イベントに出展

JAL とコラボレーションした「IoT スマートミラー 日経×JAL 青森編」では、青森の魅力や観光情報を調べることができる機能や、顔認識を行って旅の目的地を占うことができる「旅占い」などをお楽しみいただけます。JAL が持つ地域の魅力を伝える多くのコンテンツと、日本経済新聞社の持つ様々なコンテンツをスマートミラー上で見ることができます。双方の魅力を生かしながら、今後も新しい形での情報発信に挑戦をしていきたいと考えています。JR 高輪ゲートウェイ駅の開業2周年イベントに出展します。

### 日経イノベーション・ラボについて

調査・研究・開発を行う日本経済新聞社の研究開発部署です。



最新技術に関する様々な知見とクリエイティブなアイデアで日経グループを未来へ導くとともに、広く社会に貢献するイノベーションを創出することを目的としています。今後も最新の学術理論を応用した人工知能の研究や、VRやメタバース領域など幅広い範囲で研究開発していきます。

---

#### 日本経済新聞社について

日本経済新聞社は1876年以来、140年にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えてきました。約1500人の記者が日々、ニュースを取材・執筆しています。主力媒体である「日本経済新聞」の販売部数は181万部、2010年3月に創刊した「日本経済新聞 電子版」をはじめとするデジタル有料購読数は89万で、有料・無料登録を合わせた会員数は500万を上回っています。

#### 本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 広報室 TEL:(03)3270-0251 (代表)